



4
2021

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
時報 ☎06-6946-3223(直通)
☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆ 続叙階プラチナ・ダイヤモンド・金祝
☆ 春の司祭・司牧者人事異動
☆ 若者たちにこの一冊 ☆ 聖ヨセフと
わたし ☆ ラジオ「信仰の時間」Sr 深瀬聖子
☆ イエスにならう生き方を求めて (4面)
☆ ユスト高山右近の生涯と信仰 (9面)
☆ カテキズムの学び
☆ 「生きる」―難民移住者
jho@osaka.catholic.jp
(5面)

『時報』原稿・
資料等の締切は
前々月末です。

すべてのいのちを守ろう

— 今年度の教区行事に臨むにあたって —

守りましょうすべてのいのち復活祭

大阪大司教 枢機卿 前田万葉

主のご復活の喜びとともに
に始まる新年度は、ポスト
コロナの時代における新し
い教会の姿を求めて歩ん
でまいりましょう。

新年メッセージでも述べ
ましたが、一昨年に訪日さ
れ「すべてのいのちを守る
ため」というテーマのもと
に語られた教皇フランシス
コのご意向を受け止め、予
定されている一連の教区行
事や啓発週間の取り組み
に、この精神を生かしてい
ただければ幸いです。

■ 平和旬間(8/6-15)

今年の平和旬間のテーマ
は「誰も置き去りにしない
世界へ」です。教皇はパン

デミックの最中にあつた昨
年の復活祭に「いちばんの
弱者である兄弟姉妹たちが
取り残されることがありま
せんように」と強調されま
した。さらに今年の「世界
平和の日」のメッセージで、
今日はびこっている「無関
心の文化」に打ち勝つこと
が平和への道筋であると説
いておられます。加えて、
教皇が繰り返し訴えられた
核兵器廃絶への呼びかけに
応えることができるように
努めましょう。

■ すべてのいのちを 守るための月間 (9/1-10/4)

回勅『ラウダート・シ』
で述べられる「ともに暮ら
す家」である地球の環境を
守るための取り組みを共に
考え行動に移しましょう。
エコロジカルな回心がわた
したちに求められていま
す。この月間に教区全体で、
すべてのいのちを守るとい
う意識と自覚を深め、それ
を具体的な行動に移す努力
をいたしましょう。月間中、
教区が定めた「すべてのい
のちを守るための基金」募
金へのご協力とお祈りをお
願いたします。

■ International Day (10/17)

外国籍の信徒が近年増え
続けています。教会があ
らゆる「隔ての壁」を越えた
神の家族であることを改め

て思い、誰をも排除しない
社会の実現を目指しまし
う。昨年は大阪カトリック
聖マリア大聖堂でのミサと
交流イベントを開催できま
せんでしたが、自分たちで
出来ることに取り組んだ小
教区もありました。今年は
どのような形式になるか分
かりませんが、教会がすべ
ての人に開かれた共同体と
なるようお願い、祈りまし
う。

■ 正義と平和協議会 全国集会(11/22-23)

大阪教区が会場となる今
年は、分科会が中心にな
ります。社会のさまざまな現
実を学び、みことばを聴き、
共に分かち合い、行動につ
なげるといふプロセスを踏
みながら進められます。子
どもたちをはじめ、青少年、
外国籍の信徒など多くの方
の参加のもとに、あらゆる
角度からのいのちの尊厳を
守る生き方を考えていき
たいと思います。

以上、今年度予定されて
いる「いのちを守る」一連
の取り組みを概観しました
が、これらをとおして教区
民がひとつになり、神様が
創造されたすべてのいのち
を大切にし、とりわけ弱い
立場の人について寄り添
う教会になるように努めて
まいりましょう。



ポール・スクルス神父
(淳心会)

1927年5月15日、ベ
ルギー生まれ。51年7月29
日司祭叙階。53年来日。54
年より堺・61年より住之江
教会で司牧。68年より小神
学校の副校長を務める。70
年より旧英知大学の仏文学
科で教えながらカトリック
通信講座センター所長を受
け持つ。12年より淳心会仁
豊野レジデンスにて静養。
「幼少期からキリストと



レイモンド祝(60周年)
場知賢 礼文神父
(バプティスト・レイモンド)
(淳心会)

1936年3月10日、ベ
ルギー生まれ。61年8月6
日司祭叙階、翌年来日。大
阪大学で社会学の博士課程
修了後、70年・72年、当時
の中山手教会で司牧し、77
年・09年まで仏教大学で宗
教社会学と文化・価値観問
題を教える。国際社会学会
(97・06年)の未来研究委
員会の会長を務めた。81年
に帰化。
「宣教師としての60年間。
これは、おそらく私の人生
の最高の部分です。つまり、
1962年から2021年

いう人物とその教えに憧
れていました。中高生の
時、ボーイスカウトの指導
司祭がしてくださった福
音の話によって、その気持
ちはますます大きくなっ
ていきました。特にマタイ
28章18節・20節の「あなた
がたは行って、すべての民
をわたしの弟子にしなさい
」という言葉は、神様か
ら私への呼びかけではな
いかと思いました。その
ため私は宣教師になろう
と決意し、今日まで至り
ます。今日までの皆
様との出会いに感謝」。

司祭叙階記念 おめでとうございます



アンドレ・ボーガルト神父
(淳心会)

1937年5月9日、ベ
ルギー生まれ。61年8月6
日司祭叙階、翌年来日。64
年より鳥取・岡山(広島教
区)、76年より金剛・仁豊
野教会で司牧。97年より松
原教会(東京教区)で司牧。
08年より淳心会仁豊野レ
ジデンス院長を務める。
「青年時代から同
郷出身の淳心会
のスパイ神父と



ペトロ 西山俊彦神父
(大阪教区)

1935年1
月2日、山形県
酒田市に生まれ、
受洗。父の没後、香里
園へ。47年香里教会にて条
件付再受洗。49年J.ジュ
ピア・山口正神父時、大阪
公教小神学校(明星学園)、
53年東京大神学院(上智大
学)、55年プロパガンダ神
学院(ウルバノ大学)入学。
61年12月20日同神学院に
て司祭叙階。65年セントル
イス大学大学院修了(社会
学)後、帰朝。87年3月ま
で旧英知大学・短期大学に

アッテンダーレ神父の影響
を受け、55年同会に入会
し彼らに次いで、私も日
本へ派遣されました。あ
るインド人との出会いが
きっかけで、マザー・テレ
サ、そしてマザーの国際共
労者会(The Volunteer Co-
Workers)の存在を知りま
した。日本でもこの会を発
足し、その指導者になっ
ていたきたいと、マザーご
自身からの知らせが届きま
した。当時の管区長の賛成
を得て、今もおもに関西地
方でその指導に関わってい
ます。神様の導きによって、
いろいろな素晴らしい人と
の出会いができ、今日まで
いただいた多くの恵みに心
から感謝！」

て教授・学務職に従事。関
目・桜宮・香里教会、ヨゼ
フ会、女子パウロ会で奉仕。
85・86年の「第一回世界平
和巡礼」の後、「平和研究・
運動」に専念のため退職。
趣味、運動、休暇はすべて
捨てた。以後、聖母女学院、
ガラシア病院チャプレン、
三田市教会、小野原司祭の
家に居を移し幾度かの病臥
を重ねるも現在に至る。
「60年の歳月は長くて一
瞬。先人、友人、知己、未
知……、無数の手とおし
て示された神の恵みに感謝
とお詫びの念しかない。あ
るいは、壁の中に終わって
いたかもしれないこの神の
召し、許されて生きる残照
の日々を全うできればと
祈っている」。